別紙

先月に行ったアンケートの集計結果をお知らせします。
アンケート結果は、新しい学校づくりに向けた義務教育学校開設準備委員会で参考とさせていただきます。貴重なご意見・ご要望ありがとうございました。

義務教育学校開設準備委員会

「新しい学校づくりに向けたアンケート」集約結果

＜問　１＞　お住まいの地域

①大沼町	②西大沼	③東大沼	④軍川	⑤上軍川	⑥その他	合計
46	7	6	3	11	1	74

＜問　２＞　性別

男性	女性	合計
36	38	74

＜問　３＞　年齢構成

①２０代	②３０代	③４０代	④５０代	⑤６０代	⑥７０代	合計
1	8	28	10	13	14	74

＜問　４＞　中学生以下のお子様

①未就学	②1･2年生	③3･4年生	④5･6年生	⑤中学生
12	7	11	16	10

＜問　５＞　身に付けさせたい力

①国語や算数などの基礎的学力	28
②英語等の言語能力	21
③思いやり・優しい気持ち	41
④健康な体と基礎的な体力	36
⑤コミュニケーション能力	35
⑥大沼の地域や伝統文化の理解	15
⑦ＩＣＴ活用能力	11
⑧望ましい職業観・勤労意欲	7
⑨その他	2
◇多くの体験の中から自分の特性やクラス等での居場所を見つける	
◇子どもに「確かな学力」を身に付ける	

＜問　６＞ 新しい学校に期待すること

①楽しく安全に通える学校	41
②次の時代をつくる人間を育てる	23
③9年間取り組む特色ある学校	27
④地域に根ざした学校	12
⑤循環型地域を築く学校	13
⑥地域の学校	13
⑦他の地域からも進学できる学校	18
⑧地域の方がかかわる学校	16
⑨放課後活動が充実した学校	25
⑩その他 ◇他の学校と違う特色を持つ学校	1

＜問　７＞　新しい学校とどのようにかかわるか

①放課後や長期休業中の学習サポート	5
②総合的な学習やクラブ活動の授業サポート	12
③大沼学のゲストティーチャー	8
④外国語や外国語活動の授業サポート	5
⑤少年団や部活動の指導サポート	13
⑥行事のお手伝い	34
⑦図書館管理のお手伝い	5
⑧地域の伝統や文化を伝える	14
⑨学校の環境整備のお手伝い	25
⑩その他 ◇保護者の負担は増やすべきではない ◇フリースクールのような居場所づくり	2

＜その他のご意見＞

◇Ｕターンや新規移住者がいなければ、いつか廃校問題が起きる。そこで、「絶対に他の学校と異なる特色を持った学校」にしなくてはいけない。
（例）・毎年高専に入学する割合が道南でトップ
・音楽や語学に特化した学校（リタイヤされた音楽や芸術に特化した方々、もと大学教授などを毎週授業で活用する。
◇準備委員会の皆様へ、「妥協」「無難な結論」などの新しい取り組みなしに、再び廃校問題が起きないように意義のある議論をお願いいたします。

◇小学校のみの合併ならともかく、中学校も一緒にするなんて受験等の妨げにもなりかねない。慎重な検討が必要なはずなのに、意見を聞いても変わらないならみんなに意見を求める必要なんて無い。勝手に決めればいい。そんな話も出ている。寄付も意味不明。
◇鹿部に行ってプール授業するならプールを作ればいい。
◇スクールバスがあるのに一部だけの送迎は変だ。
◇スキー用具をそろえて回数が２・３かいならやるかやらないかどっちかにすればよい。
◇そもそも、反対がたくさんあるのに、合併するのか？現生徒達の意見も聞くべき。
反対が多いです。
◇これから中学になる子は1年しか着ない制服を何万も出して買うのか？

◇問５・６・７のような「○を３つまで」のアンケートで何がわかるのか？
◇この結果を受けて、どうしたいのか意図がわかりづらい。（あたりまえすぎる）
◇こんなアンケートはアンケートじゃないと思う。
◇もう少し真剣に考えてからこちらに出してほしい。

◇問５・６・７は、設問項目をもう少し精査してほしい。かゆいところに手が届く項目が少なすぎ。○を付けるのに困った。
◇児童生徒の安全・安心のため、早期の開設もわからないではないが、１年半というあまりにも早すぎ、本当に児童・生徒のためになる学校づくりができるのか？
全国の情報など、積極的に集め「実」のあるものにするためにも、もう1年先に設定しても良いと思う。